

研究室 からの メッセージ

135

左から 今松、藤田、奥山、横山

Data(2016年 2月現在)

所在地：〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236

スタッフ：藤田美江(准教授)、奥山みき子(准教授)、今松友紀(助教)、横山史子(助手)

URL <http://www.soka.ac.jp/>

看護学部

Faculty of Nursing



創価大学看護学部 地域在宅看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、1971(昭和46)年開学の8学部を擁する総合大学で、「学生第一の大学」を基本理念としています。学生1人ひとりに無限の可能性があること、その可能性を広げ、社会に寄与する「創造的人間」の育成をめざし、statement(標語)として「Discover your potential 自分力の発見」を定めました。世界52か国・地域の176大学と学術交流を結び、キャンパスには42か国・地域からの留学生を迎えているグローバルなキャンパスであることも特徴です。

看護学部は2013(平成25)年4月、7つ目の学部として開設されました。1学年定員は80名です。

Education

どのような教育をしていますか？

看護師養成に特化した「確かな看護実践力」養成カリキュラムを掲げています。その中でも、「疾病予防・健康増進」や「集団・地域」など地域看護で大切にしている視点は全員に習得させたいと考えています。「公衆衛生入門」という科目では、大学をフィールドとした禁煙プログラムに取り組みました。所属する特定集団において、喫煙者(職員・学生)、保健センターの医師、学長などにインタビュー調査を行う演習を実施し、ヘルスプロモ-

ションの概念を体験的に理解でき、予防活動の有効性と重要性などを学びました。

Research

どのような研究をしていますか？

教員が取り組んでいる研究テーマは、「母子保健活動における保健師と多職種との連携およびネットワーク」「難病保健分野における保健師の現任教育」「個人と地域の変容を促す生活習慣病予防プログラム」「精神疾患の療養者を地域の人々と支える訪問看護について」などです。これから卒業研究の指導も始まりますので、学生の研究指導を通して、教員の研究力アップもめざしていきたいと考えています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

2016(平成28)年度に初めて、地域在宅看護学実習を実施します。生活や地域および生涯を通じた視点をもった看護活動の展開を学ばせるため、行政保健師の特別講義や、訪問看護ステーションと地域包括支援センターでの実習から構成しています。現在、打ち合わせのために実習施設の指導者と連携を取り合っている段階ですが、実習以外にも教員との連携やボランティア活動における看護学生のマンパワーに期待する声が寄せられています。これから、実践における協働や共同研究に発展させていきたいと思っています。

ひとこと

学生は全国から集まっており、人に対する関心が高く、素直な学生が多いです。講義に対する反応もよいですが、それ以上にグループワークなど参加型授業になるとより熱心に取り組む傾向が認められます。実習施設が多岐にわたりますが、慣れない実習環境で学ぶ経験が現場への適応力など多くの力を身につける機会になってほしいと願っています。

……藤田

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集しています。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかに編集部までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集部 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp